

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言解除から来客数が右肩上がり、このまま推移すれば2～3か月後は今より更に景気が良くなっているとみている。
	◎	コンビニ（副店長）	・規制も緩和され、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあるので今後に期待する。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えなければ、このまま景気も良くなるとみている。
	○	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の状況にもよるが、徐々にふだんどおりの生活が戻るものと予測している。
	○	コンビニ（経営者）	・人の流れが良くなるので品ぞろえに力を入れ、客単価の上昇が見込まれる。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が現在と同等で推移していけば県内の人流、観光客数も徐々に回復し景気は上向いていくと判断する。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・観光業の集客に対して大手企業も前向きなので、力を合わせてどうにか回復させるとみている。
	○	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの11月の販売室数が前年比68%減少なのに対し、11月末時点での2月の予約室数は前年比33%減少とマイナス幅が小さくなっている。
	○	旅行代理店（マネージャー）	・外国からの入国規制をある程度しっかりやれば、ある程度需要は回復する。
	○	観光名所（職員）	・予約数が増えてきている。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・航空会社の便数回復やGo To Travelキャンペーン再開の見通し等が後押しとなり、観光関連の客増加が見込める状況にある。
	○	住宅販売会社（役員）	・人流が活発になると、不動産の取引もそれなりに増加するとみられる。
	□	スーパー（販売企画）	・アフリカで新型コロナウイルスの新変異株が発生したと連日報道されている。この新変異株が日本でどうなっていくか危惧され、それにより景気は左右されるとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言の解除があったせいか、今月は客の出は増えてきている。売上は少しだが上がってきている。しかしまだまだ良いとはいえない状態である。景気の状態はまだまだ様子見だとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・これについては、読めない。新型コロナウイルス新変異株も報告されており、これによってまた自粛みたいなことになれば確実に景気は悪くなる。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・先々の予約は少しずつ回復基調であるがまだ少ない。旅行の予約も間際化している傾向にある。Go To Travelキャンペーンの実施次第で、それ以降はやや良くなる可能性がある。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは、良くも悪くもない状況が続くのではないかと。
	▲	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルス変異株に続き、また別の新変異株の新規感染者数増加の懸念があり、第6波を意識せざるを得ない。
	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いているが、第6波があると報じられていることもあり、対面販売のサービスには足を運ばなくなると危惧する。待っているだけの営業だけでは厳しくなる一方なので、営業の形も変えていく時期なのかもしれない。
	×	商店街（代表者）	・皆が全体的に悪くなると言っている。しかし、今月の新型コロナウイルス感染の落ち着きや、ワクチンが効いている状況からして、来月から僅かだけ良くなるのではないかと、という期待も持っている。
×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・来客数はすぐには戻らない。また、原材料の値上げが続き、飲食では求人数がほとんど取れず、時給もどんどん上がり、販管費の上昇分を値上げするわけにもいかず、営業に支障が出ている。	
企業	◎	－	－

動向 関連  (沖縄)	○	食料品製造業（役員）	・今後、G o T oキャンペーンの再開や年末商戦のスタートも重なり、前年以上に消費者の活動が活発化することが期待できる。
	○	建設業（経営者）	・仮契約及び真剣な建築の計画、具体的な相談の客が増え、それが契約に結び付く可能性が大きい。
	□	窯業土石業（取締役）	・受注は若干回復するとみられるが、原材料の価格高騰が続いており、収益面での影響が懸念される。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせている現状から、景気回復を期待していたものの、これまでに悪化した経営状態の影響もあり、県内企業の販促予算が増大するには至っていない。
	▲	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化するが、大型物件が減った宮古島での落ち込みが大きい。民需関連では全体的に出ている。しかし、小笠原近海の海底火山噴火による軽石の影響で、10月末から稼働ができず先島地区では更に悪化してきており、今後の影響が心配される。
	▲	輸送業（経営企画室）	・昨今のコンテナ不足で輸入貨物が滞り、原料の欠品による物価の上昇と原油価格の高騰のため消費が減り、飲食、観光の発注数が落ち込む可能性がある。また、新型コロナウイルス新変異株の拡大が起り得る。
	×	—	—
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが少し活発になり景気の回復が見込まれるが、新型コロナウイルス新変異株の感染者が国内で1名確認され、今後の対応で景気に影響が出そうである。
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されて消費者の動きが増え、対応する企業も人材採用が増加する。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、観光客の戻りにより、ホテル、観光、飲食の求人数は増加している。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま落ち着きをみせれば、求人数が増え、就業先が増えるため景気は良くなるとみている。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・年末年始の求職者の動きは、新型コロナウイルス発生以前であれば定期的に予測でき、年始1月と年度末3月がピークであった。しかし、昨今では求職者の動きが不定期となり3か月後の推測が難しい。恐らく本月と同様の求人数かと考えている。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・年末年始で採用を控えていた企業が新年度に向け採用活動を始めるとみている。ただ新型コロナウイルス新変異株が出現したことで採用を控える企業もあるとみられるため、結果的に変わらないと見込む。
	▲	—	—
×	—	—	